



ふくしおおさか

～ 出かける つなぐ 創る～

2019
2月号

©TOMONORI TANIGUCHI 2018 この絵は、さまざまな“ちがいを”もつ人びとが、互いに認めあえる共生社会をイメージしています。



車いす8台を 筋ジストロフィー患者の方へ

5面に関連記事



焦点

平成最後の成人式に出席した。昨今の式典は、私が当事者として参加した40数年前に比べずいぶん様相が変わっている。来賓の祝辞は式次第に記載され、式典はいたってシンプル。それでも一部の参加者は、式典中に私語を慎めなかったり、途中退席したりと少々残念な場面もあった。振り返ると、自分も年を重ねての目線であるのかもしれない。

終学年時の担任の先生が招待されるという粋な計らいもあった。大人の仲間入りを果たした新成人の姿に、先生方の喜びもひとおだったことだろう。式典終了後、恩師を囲んでの懇談会は微笑ましい光景だった。新成人が、これから社会の一員として活躍してくれることを願わずにいられない。福祉には、関心だけではなく、さまざまな形で関わりをもって欲しいと思う。新成人頑張れ!!

(齊藤)

AIにできない愛のしごと

福祉の就職総合フェア SPRING inOSAKA

★福祉関係約260法人 大集結★

日時…3月9日(土) 12時～16時
会場…インテックス大阪 2号館
内容…●個別面談コーナー

- 施設見学・職場体験の受付
- 各種相談コーナー

同日開催! 福祉・介護の業界研究セミナー 10時～12時(要予約)

～人がめっちゃ好き! そんなあなたが広げる福祉の可能性～

詳しくは [大阪福祉人材支援センター](#) 検索

無料

☎ 06-6762-9006 (平日9時～17時)

車いすで風を感じてほしい

病気がわかったのは、1歳前後のとき。「当時は病気についての知識がなく、インターネットで情報を読みあさった」と話す母親の真琴さん。進行していく病気の重さを知り、不安な気持ちでいっぱいだったと振り返ります。1歳半からリハビリをスタート。介護ママとのつながりができたことで、少しずつ前向きに。3歳頃から笑顔が増え、幼稚園に入ると言葉も増えてきたそうです。

入学を控えた昨年3月、スポーツカバールの花柄が可愛らしい、真っ赤な車いすが届きました。「陽乃は腕の筋力が弱く、日本製の車いすだと自分で動かすことが難しい。今回購入させてもらった海外製の車いすは軽量で、少しなら自分の力で動かすことができます。学校では、自分で宿題やノートを出し、休み時間には友だちと鬼ごっこなどを楽しんでいる。子どもたちの遊びの中に、普通に車いすが溶け込んで

感じがうれしい」と真琴さんは笑顔をみせます。続けて、「友だちは陽乃のことを特別視せず、ごく自然に手伝ってくれる。だから、陽乃は学校も友だちも大好き。車いすで風を感じ、友だちと充実した時間を過ごしてほしい」と家族の願いを語ってくれました。



陽乃ちゃんと、「世界で一番はるが可愛い」と話すお兄ちゃん。



39 [サンキュー] 矢野基金

車いす8台の助成を決定!

1月16日、阪神タイガースの矢野^{あきひろ}監督ら出席のもと、39矢野基金の運営委員会が開かれました。

当日は、車いす公募事業で応募があった8人の筋ジストロフィー患者の方に対し、車いす購入費の助成を決定しました。

筋ジストロフィーは筋肉が萎縮し、その機能が衰えていく進行性の病気。ところがオーダーメイドの車いすは高額なため、症状にあわせた車いすをもつことが難しい現状があります。

日本筋ジストロフィー協会大阪支部の小林和美さんは「駅やお店でのバリアフリー化が進み、ずいぶん外出しやすくなってきた。仕事をしている方、余暇活動を楽しみたい方も増え、車いすのニーズは高まっている。本当にありがたい」と感謝の言葉を述べました。

矢野監督は「まだまだ困っている方はたくさんいる。いろんな知恵を出して、多くの方に支援していただける仕組みを考え、これからも寄付金の確保に努めていきたい」と意気込みを語りました。

委員会では、基金の助成を受け、車いすを購入した林^{はるの}陽乃ちゃん(7歳)のビデオレターを上映。陽乃ちゃんのお母さんの思いも届けました。